

UCHIDA DYEING WORKS



全てが「あたらしくない」ものたち。

使い古された古着や倉庫で眠る B 品をガーメントダイならではのアプローチで染めつけ、脱色し、再提案するブランド UCHIDA DYEING WORKS（ウチダダイイングワークス）。老舗の染工場が主力としてきた製品染めは、古着や古布という製品化された状態を加工するためには最適な技術だ。グラデーションを代表とするダイナミックな染めやハンドワークを用いた脱色加工など、多種多様な製品染め技術をもつ染工場が試みるもうひとつのリユースの形とは。

東京の中心で若手職人が多く活躍する老舗染工場が 2019 年 8 月にオリジナルブランド「UCHIDA DYEING WORKS（以下 UDW）」を始動、「新品よりも面白い」をコンセプトに、古着や B 品などを染め替え、脱色し、再提案する。一方、近年世界的に高まっている機運に気候危機対策があり、服飾業界はその影響の大きさから対策を求められている。大量かつ短サイクルでの過剰廃棄の現状を古着や古布を通して考えてみたい。環境保護活動家アニー・レオナードが挙げる 4 つの R は「Reduce（削減）Repair（修理）Reuse（再利用）Recycle（再生）」である。これらは重要度の高い順に並んでいて、UDW の取り組みは 1 番目と 3 番

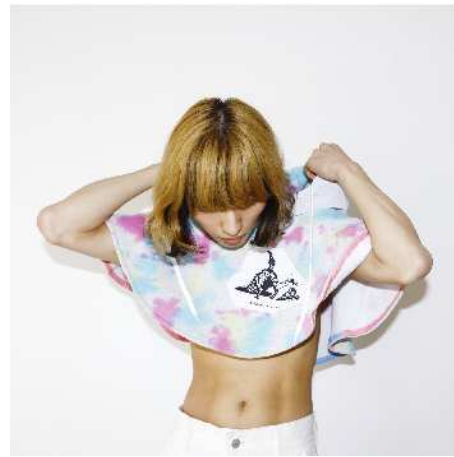
目、Reduce（削減）と Reuse（再利用）にあたる。ゴミとなる衣類を削減しつつ、リユースする。一般的にリユースされる衣服の価値は新品のそれよりもほぼ確実に落ちるが、UDW は古布・古着にダイナミックな染めやハンドワークを用いた脱色加工など多種多様な製品染技術を用いて衣服に力を与え、生まれ変わらせることで価値を高めている。

一期一会の古布・古着との出会いを繰り返し、取り組み続ける中で元々の形が想像もできないような面白い衣服が生まれてきているが、ブランド・POTTO（ポト）とのコラボレーションで作られた衣服たちはその代表格だ。



Photo ©Harumi Obama, Model: Maru Nouchi

POTTO×UCHIDA DYEING WORKS



POTTO×UCHIDA DYEING WORKS

染め加工の表現をおこなう UCHIDA DYEING WORKS と、形の表現をおこなう POTTO とのコラボレーションは、2020 年 8 月に初めて試みられて以降、3 回、4 回とコラボレーションを重ねている。互いの得意分野を思いっきり楽しむこのコラボレーションではすべてが「あたらしくないもの」からできていて、古着や古布回収に出された衣類を利用したリユースなので 1 点ものでもある。造形的な面白さと、染め加工のパワフルな変化が掛け合わされるとこんなにも面白いリユースができるのかと自分たちも驚きながら、わくわくするような製品がたくさん生まれてきている。



略歴

2022 年 10 月 ハウス@ミキリハッシンにて POTTOxUCHIDA DYEING WORKS POPUP (青山)
2022 年 9 月 B Tokyo にて POTTOxUCHIDA DYEING WORKS POPUP (日本橋兜町)
2022 年 5 月 「We Market (&Think) Here」 みどり荘馬喰横山出展
2022 年 5 月 茅スタジオ「あたらしくない展」にて POTTOxUCHIDA DYEING WORKS 新作発表 (西東京)
2022 年 3 月 渋谷スローストリーム出展 (渋谷)
2021 年 11 月 Meguriwa 展出展 (渋谷)
2021 年 6 月 ハウス@ミキリハッシンにて POTTO コラボレーション発表 (青山)
2020 年 11 月 Meguriwa 展出展 (渋谷)
2019 年 8 月 ハウス@ミキリハッシンにて POPUP (青山)
2019 年 8 月 UCHIDA DYEING WORKS 始動



株式会社 内田染工場

東京の中心で若手職人が多く活躍する、ガーメントダイに特化した染工場。量産型の染やブリーチから、職人の手作業を要する特殊加工まで幅広く対応し、かつ、スピード感のある納期を実現するための最新機器をいち早く導入する等、先進的な姿勢をもつ。デザイナーが求める未開拓の表現にも臆せず挑戦しつづけてきたことから、数多くのトップブランドがクライアントとして名を連ねる。

www.uchidadyeingworks.com

hello@uchidadyeingworks.com

Instagram: @uchidadyeingworks

POTTO

2001 年にスタート。

ファッションショーを中心に発表を続け、2007 年に恵比寿にショップ兼アトリエ兼住居の「POTTOSHOP」をオープン。2011 年に拠点を岡山に移す。以降、ファッションショーやインスタレーションを発表し、瀬戸内国際芸術祭に参加するなど、ジャンルを横断した発表を続ける。

<https://www.potto-web.com>

Instagram: @yamapotto

コフシリーズ

古布回収された衣服をベースに染め加工したシリーズ。日本国内で古布回収として排出された衣服が国内でリユースされる率は全体の1%にも満たないが、地産地消が基本となるリユースにおいて衣服の行き着く先はどこに向かっているのだろうか。UCHIDA DYEING WORKS では古布回収現場で実際にピックアップをし、染め加工を行いながら古布を利用した製品づくりに実験的に取り組み始めた。

実際に古布を加工しはじめてみると様々な問題点が見えてきたが、その中でも日本で排出された古布故に小さめなものが多いというサイズ感の問題は大きな課題のひとつだった。しかしこれはダイナミックに形を変えていく POTTOxUCHIDA DYEING WORKS においては問題ではなくなり、むしろ手頃な価格帯のものができやすいという点で古布であることが長所に転じることとなる。実験的な取り組みの完成形が見えはじめ、本格的に動き出している。



協力：門倉貿易（株）



展示・ワークショップ風景